

2022.9.12

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

●植物モニタリング活動 9/19、10/3、10/10、10/17 9:00 ため池公園スタート

●赤塚公園ニリンソウを守る会 10月例会=10/9 10:00 大門観察台

★いずれも、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

●赤塚公園どんぐりまつり 10/23 10:00~15:00 中央地区サービスセンター前

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>



↑ため池公園の梅の木が早くも色づき始めました。秋のお彼岸のころに咲くヒガンバナは花芽→を伸ばしてきて、本格的な秋がやってきました。この数年、ヒガンバナの開花期は少し早めになってきているので、あと1週間ぐらいで咲くかもしれません。



いつもは気にもとめない草

でも、涼しげだし、瑞々しい！



色もつかないし派手でもないのに、今まで気にも留めなかった花ですが、小さな穂が風に吹かれて揺らいていると涼しく感じるカゼクサ（左）。イネ科の仲間です。

右はオオバコ。今では一年中咲いている野草になりましたが、子どものころ、これで草相撲を楽しんだ人がたくさんいるはず。

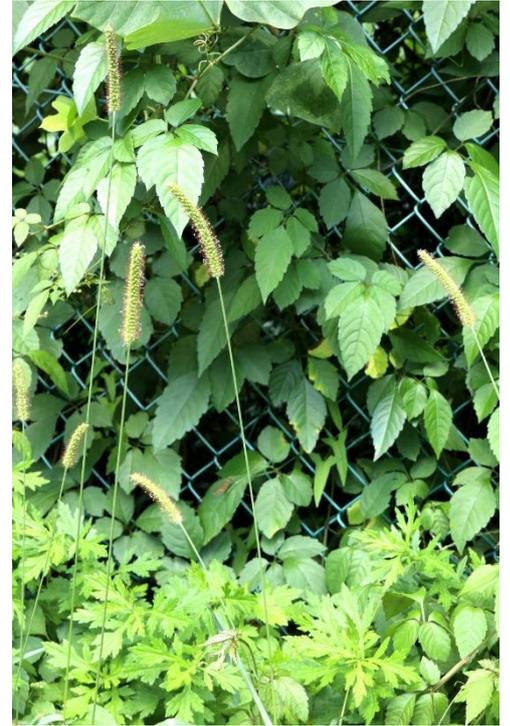
こちらはオオバコ科の植物。よく見ると棒状の花茎から花粉が飛び散っています。



これまで同じ種だと思っていたのが・・・



←これまでチカラシバだとばかり思いこんでいたのですが、花が終って実になってみると、何か違うぞ！ チカラシバは、その下の写真のように小穂が茶色を帯びているのに、こちらは緑色。図鑑では**アオチカラシバ**とありましたが異論もあり。要調査です。



また、エノコログサに似て、小穂の先が黄色味を帯びていて、しかしキンエノコロではない種もたくさん観察されます。とりあえず**アキノエノコロ**としますが、これにも異論がありそう。



美しい花や実

コムラサキ実 (右の左)
ノササゲ花 (右の右)



「八丁目の林」のフェンス内一面のクサギを刈取り

ため池公園の東側、道向かいの林を通称「八丁目の林」と言いますが、野草がたくさん咲く場所です。



ところが、今年はクサギが大繁殖して、秋に咲くはずの野草がすっかり隠れてしまいました。そこで、9/12には特別臨時活動として

クサギの刈取り作業を行いました。左が刈取り前、右が刈取り作業の様子。ほぼ同じ位置から見たものですが、別の場所ではないかと思えるほどに「景色」がすっかり変わりました。秋の野草の生長・開花には間に合わないかもしれませんが、木や草の伸び方、生え方によって、景観がまったく異なってくるものだという事も分かって、これからの植物管理にも役に立つ作業になりました。作業は5人、15分で終了しました。